

群馬県から感謝状

建協の豚熱対応

4月に前橋市で発生した豚熱の防疫作業に対し、群馬県から群馬県建設業協会（青柳剛会長）に感謝状が贈られた。

群馬県農政部の倉澤政則副部長が同市の群馬建設会館を訪れ、青柳会長に賞状を手渡した。写真。倉澤副部長は「発生当初から協会前橋支部を中心に、埋却溝の掘削や殺処分された豚の積み込み、運搬、投入、雨水排水工の設置など、昼夜問わずの体制で対応していただいた。おかげさまで約1万頭の防疫措置を無



事終了することができた。改めてお礼を申し上げる」と謝意を表した。

感謝状は、県知事から群馬建協本部、農政部長から群馬建協前橋支部、群馬県農村整備建設協会、同協会前橋分会へ、それぞれ贈呈された。

村協会
農協
建設
と協
建備
群整

県が感謝状贈呈

豚熱対応への尽力で

4月に前橋市内で発生した豚熱への対応に尽力した群馬県建設業協会（青柳剛会長）へ山本一

会前橋分会（塩原聡分会長）にも角田淑江農政部長から感謝状が贈られて

いる。贈呈式は県農政部の倉澤政則副部長が出席。各協会に対して「昼夜を問わない体制で対応して

いただいたおかげで約1万頭の埋却措置を無事に完了

した。また、協会の協力により、24時間交代制で埋却作業に当たり、8日に埋却作業を完了させた。

防疫作業は県との協定に基づき、要請を受けて実施。両協会員は積み込みから運搬、埋却、その後の石灰散布、覆土までを担当。24時間交代制で埋却作業に当たり、8日に埋却作業を完了させた。

青柳会長は「2020年9月の高崎支部、4月の前橋支部会員企業の豚熱防疫作業に対して感謝の意を表したい。21年度の協会の行動指針に豚熱などの防疫対策も追加し、地域を守る建設業を維持していきたい」と述べた。

防疫作業は県との協定に基づき、要請を受けて実施。両協会員は積み込みから運搬、埋却、その後の石灰散布、覆土までを担当。24時間交代制で埋却作業に当たり、8日に埋却作業を完了させた。



感謝状を受け取る青柳会長④